

スマイル タウン

人が好き 笑顔 がステキな街が好き

2021
7・8
月

第314号

ひの社会教育センターは、市民のみなさまの
“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する
施設として、1969年に日野市と勤社会教育協会が
協定書に基づいて設立しました。
今月もセンターで生きがいづくりをされる沢山の
市民の方々の活動をお伝えします。

おとな講座 クミコと Go Go English



「What's new ?」から
始めませんか？

- シリーズ 「SDGsを自分ゴトにしてみた！」②
- 表紙の講師は…「クミコと Go Go English」講師・倉富久美子 先生
- 2021年度 3つの“まなび”
- センターからのご案内 賛助会・寄付お礼

SDG s を自分ゴトにしてみた！

2030 年に向けた国際コンセンサス「SDGs」。センターのある日野市も SDGs 未来都市に指定され、様々な所で 17 個の目標ロゴマークを目にするようになってきました。SDGs の目標はどれもシンプルでとても大切そう。しかし、この目標を達成するには自分たちに何ができるのでしょうか。

今年度はひの社会教育センターの職員がそれぞれ関心のあるテーマを取り上げ、「自分ゴト」としてとらえ、その分野の実践家や専門家と対談しながら SDGs の取り扱い方について考えていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



シリーズ

「SDGs を自分ゴトにしてみた」②



16 平和と公正をすべての人に

SDGs に掲げる 16 番の目標には、子どもに対する虐待や暴力を撲滅することが含まれています。

今回のインタビューは、ルポライターの杉山春さんにお話を伺います。

杉山さんが、相模原市のある団地の集会所を拠点に「孤立を防ぎ、社会とのつながりをつくる」ことを目指し、仲間たちと「居場所」を立ち上げたのは 3 年前。きっかけは支援につながってもらいたいある家族でしたが、周辺には古くからの団地があり、さまざまな課題を抱えた家庭も多くありました。

インタビューは、ひの社会教育センター職員の栗澤稚富美（子育てカフェモグモグに勤務）です。

みんなの居場所 大人も子どもも

栗澤…

杉山さんは、虐待を受けて子どもが亡くなってしまった事件をこれまでいくつつか、とても丁寧にいろいろな角度から取材されていますよね。なにか共通していることはありましたか？

杉山…

子どもが虐待の末に亡くなってしまいうような事件の場合、その親は、周囲に SOS を出せず社会から孤立していたこと、そこには親たちの育ちの過程に課題があり、人を信頼したり自分は助けを求める価値があるということを教えてもらわずに大人になり、親になった。そこが共通していると感じます。

栗澤…

だから、子ども時代にどう過ごしたかが大事で、この「てとて」という場があるんですね。

杉山…

ここに来れば、信用できる大人がいる、そうした信頼関係をつくれる、そんな場所であってほしいと思っています。今は、自分のダメな部分や弱みを見せることがどんどんできなくなっていますよね。悪く言われないように、ということをやまず気にしてしまう。

栗澤…

たしかにそうですね。子育てでカフェに来るお母さんたちも、子どもが泣いたらどうしよう、と常に誰かに監視されているように感じたり、自分がダメな母親だと責めてしまっているような気がします。もっと、肩の力を抜いて子育てできたらいいなと日々感じています。



↑てとてとの開催日には、のぼり旗でお知らせ。

杉山…

苦しい、と訴えることや、自らの困窮を認めることはものすごく力のいることです。「支援を受けることが権利」と思えるか。困窮したり、行き詰まったりすることがダメなことだと思ってしまう。でもよく見てみれば、それは、自分のせいというよりも、社会の構造のせいであることに気づく。

いま、中間層がすっぱりと抜けているような、経済的格差が進んでいます。そうした力の動き方に、自分たちが巻き込まれているということではないかと感じます。

「子ども」は「未来」

栗澤…

2 年程前から関わる中で、「てとて」と来ている子どもたちを見ていて、子どもが自分の話を聞いてもらったり、大切にされていることを実感できると、成長につながると思います。以前はお菓子を独り占めしたり、電気を点けたり消したりして大人の気を引いていた子が、最近落ち着いてき

たな、と気付いたり。

杉山…

そうですね。「あ、この子、学校で大切に扱われているんだな」と気付かされることもあります。子どもたちの様子で、その子の後ろにいる大人の様子や関わり方が見えてきます。

私も子どもたちに対して「正直」に接しています。話を聞けなくて悪かったな、って思ったときは、そう思っていることをちゃんと伝えたり、時には「これは出来ないよ」ということをしっかり言うことも。大人が弱みを見せたり、うそをつかなかつたりすることは、きっとその子に伝わるし、子どもにとつて、とても大事なことだと思います。



↑あきらめず伝えていきたいと語る杉山さん。(写真左)

今、心配しているのは、能力があるのに家庭の中に問題を抱え、支援が届かずにとりこぼされてしまう子が少なからず居ることです。理論立てて考えたり、知識を持つていけば解決できるということを知ってほしい、そして「自分が大切にされる」という体験をたくさんしてほしいと思います。

栗澤…

「子ども」って「未来」ですよ。子どもたちがいろいろなことを知って、自分のやりたいことや、行きたいところを、選んで生きていけるよう、私たち大人にできることをこれから考えていきたいです。

プロフィール

杉山 春さん

ルポライター。『ネグレクト 育児放棄 真奈ちゃんはずせ死んだか』（小学館文庫）で第11回小学館ノンフィクション大賞受賞。

著書に『児童虐待から考える 社会は家族に何を強いてきたか』（朝日新書）

『ルポ 虐待 大阪二児置き去り事件』（ちくま新書）など。

みんなの場「てとて」を仲間と一緒に運営中。共同代表。

表紙の講師は…

クハハハ Go Go English 講座
水曜日(月2回) 10時〜11時半

講師 倉富 久美子 先生

プロフィール

センターでの講師歴は10年以上、始めは別の講師のピンチヒッターでした。小学校での外部講師としても英語を教えるクミコ先生は、「フオニックス」という発音と文字のルールを学ぶ学習法を使用し、対象が大人でも子どもでも、基本中の基本を大切に教えています。

教室の様子

「What's new?」からはじまる講座。この2週間何かあった?と聞き、皆さん慣れた様子で、英語で返事をしていきます。

会員さんからは、「先生が楽しくて、知らないことをいろいろ教えてくれるのがよいです」というお話を伺いました。

時事的な話題を取り上げ、プリントや、英字新聞のコピーなどを用意しています。例えば今なら、「検温」や「ワクチン接種」の話題を、ちよつとした会話の中に取り入れられるように。他にも英語の歌詞を追いかけたり、クロスワードパズルに挑戦したり、アプローチは数々。皆さんのいろいろな興味の引き出しを刺激して、飽きる暇もなく、あつという間に時間が過ぎていきます。

先生に聞きました!

「Go Go English」のうねーニング、ふざけてない?と笑って話すクミコ先生。でもこの講座名が「楽しそう!」と、入会した方もいるそう。

英会話教室などに、ついゴールを求めてしまいがちですが、「続けていることが大切なと思います。」

たとえば海外旅行などでちよつとした日常会話を「緊張なく伝えること」が出来ると嬉しい、英語のニュースに反応できる、そうしたことを小さな目標に。でも、発音が違うと伝わらないので、発音には気を付けていますよ、と話してくれました。

皆さんへの宿題も、プリントは渡すけど、あまり「書いてきて!」とはあえて言いません。やってもやらなくてもいい、あまり食欲にならず、会話を楽しみ、いつの間にか身につけている、講座名では Go Go ですが、中身は「ゆつくりと Go」な講座です。



↑講座の最後は、英単語のしりとり。

2021年度 3つの“まなび”

世界一しあわせな国のおはなし お話し会

講師：ピーダーセン海老原さやか（デンマーク在住・公立特別支援学校勤務）

オンライン講座



元センターリーダーのえびちゃん。
2000年に、センターの「高齢者福祉視察の旅」に参加したことがきっかけでデンマークに留学。
その後デンマーク人の夫と結婚し移住。
日本での講演活動などでも活躍中！

5月30日(日)はじまりの回を開催しました。講師のさやかさんはデンマークから、会場参加者6名、オンラインでの参加者は28名、さまざまな場所にいる参加者がお互いに話すことで一体感が生まれ、とてもにぎやかな会になりました。

はじまりの回で、今後の学びたいテーマを聞き、2回目は「デンマーク×家族」、3、4回目はそれぞれ子ども・大人の学びというお話しを深めていきたいと考えています。グループワークを取り入れ、みんなで学ぶお話し会です。

2回目以降はお好きなテーマの回にご参加ください。

申し込み受付中!!

今後の講座予定

日時 3回目 11月28日(日)「デンマーク×子どもの学び」

4回目 2月27日(日)「デンマーク×大人の学び」

参加費 2,200円(早割り1,650円 先着20名限り)

申し込み1週間前まで



子どもたちと未来のために、地球を守る “未来へのバトン”サミット2021



気候変動 # 地球温暖化 # SDGs # 持続可能・維持可能
次世代へのバトン # 子どものためにできること

2021年11月(11/3~27)開催の“未来へのバトン”サミットに45ブランドの参画団体が集まりました!

大学・公益法人・民間企業など様々なジャンルの様々な団体が力を合わせて、今を生きる大人たちへ、気候変動を考える機会を創ります。

答えは自分たちで考え、行動するしか解決しない。難しい課題ですが今がその時と言えます。

特設HP開設!

参画団体一覧も掲載しています。

<http://www.miraibatonsummit2021.com>



講演: 11月にオンライン配信予定 シンポジウム: 11月27日(土)
会場とオンラインの並行開催で全国から参加可能!

後援



環境省



東京都環境局



日野市

主催: 公益財団法人 社会教育協会

自然保育ゼミナール 開講

私たちは50年前から野外教育を始め、その流れの中で2009年より『森のようちえん』事業をスタートさせました。

このゼミナールにはこれまでの活動の中で見てきた大切なことや、私たちがもっと学びたいこと、学びを深めたいことをギュッと凝縮しました。みなさんもぜひ一緒に学びませんか?

自然保育
ゼミナール
2021

▽こんな方におすすめのゼミナールです▽

- ☐ “自然保育”というキーワードが気になった方
- ☐ 保育園・幼稚園等、保育の現場で自然の中での活動を取り入れたいと感じている方
- ☐ 自分の子どもに自然活動を取り入れたい方
- ☐ いろいろな人と保育観を深めたい方
- ☐ 将来保育士や幼稚園教諭を目指す方

学べるテーマ

- * 子どもをみる視点
- * 実効性のある事故予防 リスクマネジメント
- * 自然保育下での非認知的スキルと運動能力
- * 環境を考えた自然保育の取り組み
- * フィールド素材の活かし方

日程

2021年度を通じ、全12回(各月1回ペース)
各テーマに沿った講座を企画しています。

救急法実技等講座

9/4(土)「もしものときの対応～事故やケガが起きたときの知識と技術」講師: 寺田 達也 Emergency First Response イストラクター

オンライン講座

12/18(土)「自然の中で得られる子どもたちの運動能力について」

講師: 居崎 時江



その他講座の詳細・お申し込みは、ひの社会教育センターHP

または で検索を。



賛助会へのご協力 ありがとうございます ★順不同・敬称略

- ①個人会員 1口 1,000円
中野 中 3口 柿田雅子 180口
- ②団体会員 1口 5,000円
日野手品サークル 1口 手話ダンスカワセミ 1口
モッキングバード 1口

スマイルタウン発行: (公財) 社会教育協会ひの社会教育センター 発行責任者: 館長 入手喬
〒191-0062 東京都日野市多摩平 3-1-13 電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647